

大阪府住吉区で『大規模地震時医療訓練』に参加しました！

日時：2017年7月29日（土）（10:00～16:00）

場所：大阪府立急性期総合医療センター、大阪市立大領小学校

参加者：大阪府立急性期総合医療センター医師、看護師、住吉区住民、大阪市住吉区役所

ファシリテーター：建築学科学生6名＋教員2名（計8名）

今回の見どころ

大規模地震時医療訓練とは、年に一度、政府と都道府県が連携して行う防災訓練です。今回は、大阪府立急性期総合医療センターと大阪市立大領小学校で行われた訓練に参加しました。病院での訓練では、災害時に想定されるけが人や体調不良者が多く発生し、その対応を行う医療活動に特化したものとなります。大領小学校では、多くの人々が避難してくるのですが、この訓練において住民が100人参加するのは初めての試みとなります。

プログラム実施風景



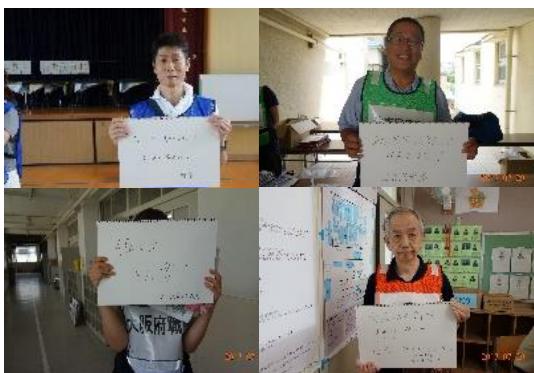
総合医療センターは、災害拠点病院であるため、地震後に多くの患者が運ばれてきます。



この防災訓練において心がける事を薬剤師さんたちに書いて頂きました。



大領小学校では、住吉区住民と区役所職員が参加する実践的な災害医療訓練となります。



訓練参加者に災害時に心がける事を書いて頂き、「みんなで助け合おう」などの意見がありました。



訓練見学者からも「自分にできることを考える」や「みんなで力を合わせる」などの意見を頂きました。



最後に、全員で集まって訓練の評価を聞きました。

プログラム実施結果

今回の訓練は、医療活動に特化した大規模な訓練であり、参加者一人一人が自分の役割を持っているため、とても緊迫した訓練となっていました。訓練参加住民が100人となる今日の防災訓練は全国初の試みでしたが、避難所内はとても混乱した雰囲気、実際の避難所の様子が想像できる内容となりました。研修中に参加者や見学者に書いて頂いたボードには、「助け合い」とのキーワードが多くあり、災害時に心がける重要な事だと思いました。参加者がこのような思いを持って訓練に参加されたことを知ることが出来ました。

感想を書いてくださいました住吉区住民の皆様、大阪府急性期総合医療センターの医師・看護師の皆様、ご協力ありがとうございました。皆様に心から感謝申し上げます。